



去る10月19日(土)、あさひ学園が創立50周年を記念して4校合同の大運動会を開催した。当日は約1100人もの児童・生徒らが同学園サンゲール校に集まり、徒競走や玉入れ、綱引きなどの種目を楽しんだ(詳細はp.2-3)。

- 2-3 「あさひ学園創立50周年記念大運動会」報告
- 4-5 在ロサンゼルス日本国総領事 武藤顕氏 特別昼食講演会報告  
「日本外交と安全保障政策の変遷と課題」
- 6-7 第222回ビジネスセミナー報告  
「ブランデッド・エンターテイメント & コンテンツマーケティング」
- 8-9 ミキサー (異業種交流会) 報告
- 10-11 各部会からのお知らせ
- 12 12月・1月のJBAイベントカレンダー

<http://www.jba.org>

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248  
Phone : 310-515-9522

あさひ学園事務局

## 「あさひ学園創立50周年記念大運動会」報告

去る10月19日(土)、JBAが設立した日本語補習授業校、あさひ学園が創立50周年を記念し、4校合同の大運動会を開催した。当日は約1100名の児童・生徒らが同学園サンゲール校に集まり、朝の9時から午後3時まで、徒競走や玉入れ、綱引きなどの種目に力いっぱい挑んだ。



開会式にて、創立50周年への祝意と、児童・生徒たちへの激励を述べる中島JBA会長。



1100名もの児童・生徒が一斉に行う準備体操は壮観。



創立50周年を記念し、ドローンを使って空中から撮影された「あさひ50」の人文字。



幼稚部の児童たちによる、かわいらしい「妖怪ウォッチダンス」のパフォーマンス。

### 設立以来、世界最大規模の日本語補習授業校であり続ける同校

去る10月19日の土曜日、日本語補習授業校のあさひ学園が創立50周年を記念し、4校合同(サンタモニカ校、サンゲール校、トーランス校、オレンジ校)での大運動会を行った。

同校の歴史は50年前、JBAの前身である日米貿易懇話会が設立母体となり、加州非営利法人のロサンゼルス日本語教育振興会を立ち上げたところまで遡る。その目的は、一時滞米者の子女または将来日本で生活する可能性のある子女が、帰国した時に日本の教育や生活環境に順応できるよう、日本の学校における学習や生活様

式を学ぶ機会を与え、さらに国際社会に貢献できる力を育成することであった。そして1975年からは日本国政府より援助を受け、ロサンゼルス補習授業校として認可された。以来、同校には文科省から校長および基幹教諭が派遣されており、彼らが現地採用教師の指導研修に当たることで、高い水準での日本の教育が維持されている。

創立年の1969年には小学1年生～中学2年生の生徒合わせて68名だったが、10周年を迎えた79年には1091名、さらに83年には2000名を超えると、90年には3108名と過去最多の児童・生徒数を記録。その後、減少しているものの、2019年現在も約1400名の児童・生徒が在籍し

ており、これは全世界の日本語補習授業校の中でも2番目を誇る(教職員数は世界最多)。卒業生は1万5000名以上におよび、卒業前に帰国した児童、生徒も数えると同校で学んだ児童・生徒は数万人にも上る。彼らが親となり、その子女が入学するというケースも非常に多い。

### 約1100名の児童・生徒たちが徒競走や綱引きに全力で挑んだ

このような長い歴史を祝うおめでたいイベントらしく、当日は約1100名の児童・生徒に加えその保護者たちが一堂に集まる、非常に大きな運動会となった。JBAからも中島喜一会長、福島祥修専務理事、





**医療機器、医薬品、食品、化粧品、放射線機器**

**FDA・EPA・Prop65**

他各種規制対応 専門



Phone: (310) 538-3860 email: [info@globizz.net](mailto:info@globizz.net)

お問い合わせは伊藤迄

1411 W. 190th St., Suite 200 Gardena, CA 90248, U.S.A.

グロービッツコンサルティング・ウェブサイト: [www.globizz.net](http://www.globizz.net)





運動会の定番、「玉入れ」は大盛り上がり!



高等部の生徒たちによるレベルの高いダンス。



高等部生徒および有志の保護者で行われた「綱引き」。



迫力満点の「徒競走」。



二人三脚の4人版、「4WD」で、笑顔いっぱいの生徒たち。



閉会式で、「すごくいい運動会だったと思います!」と児童・生徒たちを労った小川校長。

伊藤三郎筆頭副会長、小野正直あさひ学園部会長、横岡治オレンジカウンティ地域部会長、さらに日下部仁あさひ学園理事長らが出席した。

午前9時、全児童・生徒がサンゲール校のグラウンドに集合すると、まず行われたのが人文字の空中撮影。児童・生徒らは力を合わせ、「あさひ50」の文字を見事に作り上げた。その後、小川雅弘あさひ学園校長、武藤顕・在口サンゼルス日本国総領事、中島JBA会長らからの開会の挨拶、さらに児童代表による開会宣言の後、いよいよ大会がスタート。4校それぞれに色分けられたオリジナルのTシャツに身を包んだ児童・生徒たちは「徒競走」

「玉入れ」「綱引き」「選抜リレー」などの種目で競い合い、会場は大いに盛り上がった。また、会場にはたこ焼きや焼き鳥、ハンバーガーなどのフードトラックが並びダイニングエリアのほか、お祭りの縁日を模したゲームコーナーが設けられるなど、参加ファミリーが大会を最初から最後まで楽しめる工夫が随所に成された。

午後3時に最後の種目、「選抜リレー」が終わると、閉会式となり、日下部理事長、小川校長、児童代表らが閉会の挨拶を行った。そして、小川校長の「校長先生は、すごくいい運動会だったと思います!」という言葉の通り、本大会は大成功のうちに幕を閉じた。

協力企業リスト ※アルファベット順

- Bourbon Foods USA Corporation
- Fujisankei Communications International, Inc.
- Gulliver USA Inc.
- HIRO'S AUTO REPAIR
- Kamei North America Co., Ltd.
- Lighthouse
- Mitsubishi Electric US, Inc.
- Nissin International Transport U.S.A.
- Pentel of America, Ltd.
- SoftBank Telecom America Corp.
- T-West Inc.
- Yamaha Corporation of America
- Yamasaki & Company, Inc.
- Yokohama Tire Corporation

極上の和食、いせしま。

**いせしま**  
Ise-shima  
at the MIYAKO

都ハイブリッドホテル1階  
(310) 320-6700  
www.ise-shima.us

トランスとダウンタウン 都ホテルは2つのチョイス。

**MIYAKO HYBRID HOTEL**  
都ハイブリッドホテル トランス・カリフォルニア  
21381 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501  
Phone: (310) 212-5111 Fax: (310) 212-5112  
www.miyakohybridhotel.com

**MIYAKO HOTEL LOS ANGELES**  
都ホテル ロサンゼルス  
328 E. First Street, Los Angeles, CA 90012  
Phone: (213) 617-2000 Fax: (213) 617-2700  
www.miyakola.com

ご宿泊はJBA会員企業特別料金をご利用頂けます。詳細は各ホテルへ直接お問い合わせください。

## JBA役員会主催

### 在ロサンゼルス日本国総領事 武藤頭氏 特別昼食講演会報告

#### 【日本外交と安全保障政策の変遷と課題】

10月11日、トランスのMiyako Hybrid Hotelで、新たに着任した武藤総領事を講師に迎えたJBA会員対象の講演会を開催した。

#### 【プロフィール】

##### 武藤頭 在ロサンゼルス日本国総領事

インドのニューデリー生まれ。東京大学経済学部経済学科を卒業した1985年に外務省入省。条約局国際協定課、欧亜局ロシア課を経て、在アメリカ合衆国日本国大使館、在ロシア日本国大使館に勤務。12年、在ボストン日本国総領事館総領事、15年、内閣官房内閣審議官（国家安全保障局）、18年スタンフォード大学客員研修員を歴任。19年より現職。



※講演内容は個人の見解を含むものであり、必ずしも政府の公式見解と一致しない場合があり得る旨、武藤総領事より補足説明あり。

#### 湾岸戦争で日本が味わった 国際社会での屈辱

武藤総領事は冒頭、外交の定義について説明した。「外交とは国家間または国際間の交渉であり、本来は対外的な脅威から領土や国民の利益を守るための安全保障政策が中核となるべきものです」。それを踏まえ、戦後の日本外交の状況を次のように解説。「日本は、戦後復帰のあり方がソ連や中国など国際社会から総意が得られない形で、特殊条件の中で戦後復帰を果たさざるを得ませんでした。よって独自の安全保障政策が欠落することとなり、それと引き換えに国際社会に復帰するという苦肉の戦略を取るに至りました。一方で、日本は国際的には西側陣営に与するものの、米国の軍事行動に巻き込まれる（entrapment）ことを回避する身勝手な路線“Japan First”を選択したと受け取られています」。

外交の自主性が限られる中、中国に対しては国交が叶わず、72年のニクソンの訪中を経て、78年になってやっと回復が果た

された。それを受け、同年には台湾と締結していた日華条約を米国の横並びで破棄した。また、“ダレスの恫喝”などもあり、現ロシアとの関係においては、北方領土問題故、いまだに日露平和条約は締結されていない。

「世界情勢が変化していく中で、いつまでも日本の安全保障政策が欠如したままでは国益は守れないという考えが広がっていきます。それがリアリズムへの移行です。その背景には、まず湾岸戦争での屈辱が挙げられます。あの出来事が我々の脳裏から離れることはありません。自衛隊の掃海艦を戦闘領域に派遣することは戦闘行為になると、日本は派遣を拒否。代わりに、実に130億ドルの拠出を行いました。この行為は“Too little, too late”と揶揄されました。お金を出しただけで十分な貢献をせず、停戦後に掃海艦を派遣したのでは遅過ぎるというわけです」。

『The Washington Post』『The New York Times』など米主要紙にクウェートが感謝広告を出した際も、協力国の一覧の中に日本はなかった。

「国際の平和と維持のための国際協力が行われる時に、日本のような国は弱点がさらけ出されてしまいます。国際の平和と維持のための軍事協力ができないのです。1991年にはソ連邦が崩壊し、冷戦が終了しました。戦後の時代が終わった、これからは平和だ、と誰もが思いました。しかし、戦争の歴史が終わるところか、中国が台頭し、北朝鮮やISといった、ならず者国家が出てきました。アルジェリアでは邦人が拘束、殺害され、イラクやシリアでは誘拐処刑も行われました。黙っていたら誰も守ってくれず、現実を目の当たりにせざるを得ない状況が迫ってきたのです」。

#### 安全保障における リアリズムへの転換

このような状況の中、ついに日本が動き始めた。1997年、日米防衛協力のための新ガイドラインが策定され、日本の平和と安全に重要な影響を与える周辺事態有事の際には、米軍への後方支援を行うことを規定に盛り込んだ。1999年には「周辺事態法」が導入された。これは給水、給油、輸送、医療の面で、自衛隊が米軍に後方支援できる内容を定めたもの（2015年に「重要影響事態法」に変更）。

「こうして、安全保障に関して、それまで浮世離れていた安全保障観が変わってい

きました。当時の小泉総理は国会外交演説を行い、2本柱を提唱しました。1つは日米同盟、2つ目は国際社会への貢献です。北朝鮮の脅威に対する米国からより強力な協力を引き出すため、アフガンやイラクへのより強力な支援の必要性を打ち出したものだ。当時の安倍官房副長官が言及しています。非常に分かりやすい内容で、リアリズムに基づいたものでした」。

さらに安倍政権では、積極平和主義外交の体系化が成された。13年12月4日に「国家安全保障会議」の創設、同年12月17日に「国家安全保障戦略」の策定、15年9月19日には「平和安全法制」の整備が行われた。「このように、国家安全保障戦略を持たない唯一の国だった日本の平和安全法制が整備されるに至りました」。

日本は、いかにして紛争に巻き込まれるのを回避するかという「巻き込まれ論」から、積極的に世界平和に貢献する方向に発想を転換した。北朝鮮の核化、中国の台頭、米国の力の相対的な低下など、安全保障環境が劣化しているという認識の下、平和愛好国家としての憲法第9条、非核3原則、専守防衛を維持しつつ、抑止力を強化する方針を選択した。「日本は受け身なプレイヤーではなく国際社会においてグローバルプレイヤーである、それが日本の国益であると位置付けています。外交努力の強化による我が国にとって有利な国際秩序および安全保障環境の実現、防衛力の強化による領土保全、日米ガイドラインの改定による同盟のさらなる強化、国際環境に適合した武器輸出原則の策定、法の支配に基づく国際秩序の構築、航行の自由に基づく開かれ安定した海洋の維持（自由で開かれたインド太平洋）、サイバーや宇宙の分野での技術能力の向上を目標に掲げています」。

15年4月27日には「日米ガイドライン」が改定された。同ガイドラインでは、日本の平和と安全のために平時からグレーゾーンを含むあらゆる事態に備えた切れ目のない同盟の対応、さらにグローバルな平和と安全のために、重要影響事態における「周辺」といった地理的制約を設けない日本の協力を定めた。これらの両国間での協力を可能にする「同盟調整メカニズム（ACM）」を新設し、会合が頻繁に開催されている。

また、15年に整備された「平和安全法制」は巻き込まれ論からの脱皮を目指すもので、次のような点が変更された。

・存立危機事態の下（新3要件※）、集団的自衛権の行使が可能に（※①我が国と

密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、②これにより我が国の存立が脅かされ、③国民の生命、自由および幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険があること)

- ・弾薬の提供、戦闘作戦行動のために発進準備中の航空機に対する給油・整備が可能に
- ・現に戦闘が行われている現場以外であれば、支援活動が可能に
- ・駆け付け警護が可能に
- ・一般法化(国際平和支援法)

「ただし、課題もあります。集団安全保障措置には参加できません。また、重要影響事態が発生した場合、非戦闘員の救助のためには、港湾などの民間施設における自由の制限がある程度必要です」。

### ルールに基づくアジア太平洋の秩序強化への取り組みが重要

16年夏には実際に緊迫した事態が発生した。「尖閣周辺に漁船も合わせると300～500隻の中国の船が押し寄せました。これは、漁船と見せかけて実際は海上民兵のような組織で、海上民兵による尖閣上陸の試みでした。この事態こそ平時でも戦時でもないグレーゾーン。対処の必要がありましたが、どの時点で防衛省の船を発動させるかが重要でした。早過ぎる事態を一時的にエスカレートしているというキャンペーンに使われます。遅過ぎてももちろんいけません。平時は警察による法執行、戦時は防衛省による武力攻撃という従来の発想では領土を守ることができないのです」。

この尖閣事案の後、法執行機関と自衛隊の装備を総動員した密接な連携、外交面での戦略的コミュニケーション、ACMによる米軍とのジョイント・プレゼンスオペレーションという、NSCの下での安全保障政

策の統制が行われるようになった。

「今、日本は国際社会への平和的貢献を念頭に置いています。そのためには中国などによる強制を排除し、ルールに基づくアジア太平洋の秩序強化のための取り組みが重要。しかし、米国は国連海洋法条約を締結しておらず、国際主義を取らないトランプ政権ではますます、その見直しは遠ざかっています。何とか変えていく必要があります。また、ルール作りはASEAN諸国だけでは意味がなく、中国がいなくて議論しても何も変わりません。中国を入れて拡大ASEAN海洋フォーラムという形で法の支配の普及のために取り組んでいます」。

続いて武藤総領事は、南カリフォルニアと安全保障について言及した。「西海岸は太平洋を抱え、軍事的な意味合いを持っている地域であり、サンディエゴには北太平洋艦隊第3司令部があります。ここは太平洋の東半分を管轄しています。北朝鮮の弾道ミサイルが飛んでくるとすれば、米本土となればその地域は西海岸です。我が国と西海岸との米軍基地との関係構築は非常に重要だと受け止めています」。

質疑応答に移る前、中島喜一JBA会長は「外交戦略の中で私たち日本人が守られているという事実に対して、異国にいると意識が薄れがちになります。改めて、守っていただいているということを思い起こしました。気付きをいただくことができました」と感想を述べた。質疑応答では、安全保障とは離れて在任中の目標を聞かれると、「2つあります。1つは、南カリフォルニアは経済協力ができ上がった感があり、動きがない状況と言われますが、その中で新たな動きを作る必要があるということです。当地においては中国、韓国の進出が目覚ましい中で、日本が最大の投資国であり、雇



着任間もない総領事の講演とあって多くの会員が詰め掛けた。

用の創出にも最大の貢献をしています。このままでは、その地位が今後、相対的に下がっていくことは必至です。現状に安住することなくさらなる投資を行い、さらなる存在感を強めていかなければなりません。南カリフォルニアの人々にどういった分野への投資を受けることに関心があるのかと問いますと、環境分野ですね。日本の環境技術こそ、現地でも歓迎される技術ではないかと思えます。したがって、日本の優れた分野で投資を行うことで存在感をアピールしていくことが1つ。もう1つは、カリフォルニアは多様性の社会なので、多様性の中の調和を図る上で、日本コミュニティがリーダーシップを発揮していくということです。まとめ役としての姿勢をアピールしていくことが日本人およびジャパニーズアメリカンのコミュニティに対する敬意の表明にもなります」と回答した。



講演後、武藤総領事とJBA関係者で記念撮影。

## 新任の車の手配は面倒だと聞いた。間違いだった。

社用車からご家族のお車までガリバーにご相談下さい。日本企業ならではの細やかさでお応えします。

**低金利ローン  
& 保険**

新規赴任者向けのプログラムを大手保険会社と連携実現。

**日本でやりとり  
すぐに乗れる**

事前にメールでやりとりして渡米してすぐに車に乗れます。

**あんしんの保証  
サポートも万全**

プレミアム1年保証で購入後に発生した修理代金を保証。

**高額買取  
いたします**

売却もガリバーへ

買取累計  
13,000台

アメリカでも、中古車選びは  
**ガリバーへ**

お問合せ Torrance / Los Angeles / Orange County  
**1-800-783-0271** 法人窓口：大塚・佐藤まで  
24H オンライン受付

🔍 ガリバーUSA 🔍

検索

## 「ブランデッド・エンターテインメント&コンテンツマーケティング」

去る10月24日、トーランスのMiyako Hybrid Hotelで第222回JBAセミナーを開催した。今回は「ブランデッド・エンターテインメント&コンテンツマーケティング」と題され、最新のマーケティング事情が紹介された。

### 【講師】

鈴木智也さん

博報堂入社後、テレビCM制作などを担当。博報堂DYMPメディア環境研究所を経て、南カリフォルニア大学映画大学院プロデューサー学科に留学。2011年博報堂DYグループ・セガなどの出資を得て、STORIES®合同会社を設立し、CEOに就任。13年に米国子会社をLAに設立。



### エンターテインメントとの 掛け算でブランドメッセージを伝える

「良い商品やサービスを生み出せば必ず売れる」という考え方は過去の話。インターネットで商品の比較・購入が容易になった今、競争環境は激化し、日本からアメリカへの新規市場参入も容易ではない。そこで、今、注目を集める、ソーシャルメディア時代の新しいブランドコミュニケーションの形、ブランデッド・エンターテインメントについて、広告、映画、テレビ番組などの企画制作を行うエンターテインメント会社、STORIES(東京)、STORIES INTERNATIONAL, INC. (LA)の鈴木智也さんが、ケーススタディーを紹介しながら解説した。鈴木さんはまず、人の頭の中のポジショニングについて次のような例を挙げて説明した。「皆さんは、『電博』という言葉を知っていますか。この言葉は、博報堂の先輩が1970年くらいに考

えたものと言われています。当時の博報堂のビジネスサイズは電通の数分の1程度しかありませんでした。しかし、『電博』という言葉を作ることで、企業の広告部・宣伝部の方々の頭の中でポジショニングを確保したのです。このように、予算がなくてもアイデアでマインドシェアを獲得した良い例と考えています(笑)」。

次に鈴木さんはメディア環境の変化について触れた。「メディアの世界では一体、どうなっているのでしょうか。変化の中での解決策について話していきたいと思います。今はインターネットが、メディア環境の全てを変えつつあると言えます。しかし、恐れることはありません。映画という産業でさえ、約120年しかその歴史はないのです。テレビの歴史もまた70年しかさかのぼりません。だからこそ、インターネットの時代になり、どう変わっていくのか不安に思うのではなく、解決策を模索していくことが大事だと考えます。今日は皆さんにアイデアにあふれた、アメリカや世界で成功している事例を紹介していきます。皆さんのビジネスの参考になれば幸いです」。

事例を紹介する前に、鈴木さんは、マーケティングで重要なことは客観的な戦況分析だと述べた。「自らに都合よく解釈しないことが重要です。客観的に市場はどうなっているのかを見てみましょう。日本とアメリカでテレビ広告市場のサイズは1対10という割合です。アメリカの人口は日本の3倍なのに対して、ビジネスサイズは10倍もあるのです。皆さんの中には、東京でマーケティングをやっている時に6億円規模のキャンペーンをやったことがある方もいるかもしれませんが、日本であればそれだけの金額を投入すれば、テレビCMは結構流れます。ところが、アメリカで同じ額を投入したとしても、日本で6000万円くらいの効果しかないということになるのです」。

しかし、予算がないという場合、アイデアが鍵になると鈴木さんは続けた。「私が重要だと思うのは、ボールド&インサイトフルな内容で勝負するということです。ボールドは大胆。インサイトフルという言葉の意味は、普段は気付いていないが、指摘されたら分かるというようなことです。それによって人々の共感を獲得します」。

また、現在のメディアの状況に関して、広告のない媒体が好まれている状況が解説された。「自分が楽しんで視聴していたコンテンツが中断され、全く関係ないことを見せられる、それがテレビCMです。このよ

うな中で、アドフリーのサービスがサブスクリプションを伸ばしていますが、特筆すべきポイントは、全体のメディア接触時間が増えているという事実です。全てのメディアを含む接触時間は18歳以上のアメリカの大人で実に1日11時間。その11時間の奪い合いという現象が起きています」。

さらに、2018年はテレビ広告市場がインターネット広告市場に追い越された歴史的な年だったことに触れた後、今回のセミナーのテーマとなっているブランデッドエンターテインメントについて言及した。「これはエンターテインメントとの掛け算で(ブランドの)メッセージを伝えていくというものです。前提としてテレビCMはコンテンツを見ているところを突然止められてメッセージを無理やり伝えられるもので、ユーザー体験としては最悪であり、時間を使って良かったなと思っていただけるようにメッセージを届ける必要があるということです。ブランデッド・エンターテインメントという手法はインターネットが普及し始めた2000年頃に誕生しました」。

### 人々の共感を獲得し 結果を伴った成功事例

続いてブランデッド・エンターテインメントの中で過去に成功したキャンペーンの事例が映像で紹介された。

#### ●Aeromexico

“There are no borders within us”キャンペーン。メキシコから移動する際の一番の目的地はアメリカ。しかしアメリカからの目的地の一番はメキシコではない。まず、数人のアメリカ人にメキシコをどう思っているかインタビューした映像が流れる。多くの人がタコスが好きだが、メキシコに興味はないと答える。次にDNAテストを上記のアメリカ人に行い、何パーセント、メキシコの血が流れているかを発表する。その割合でAeromexicoの航空券の割引率が決まる。

「アメリカの人種差別的な側面を皮肉った痛快なアイデアです。多くの人の共感を得ることに成功しました。ビデオそのものが痛快なエンタメコンテンツになっています」。

#### ●Zappos

オンラインショッピングサイトのZapposの“Pay with a cupcake”キャンペーン。これは「Googleのフォトアプリでカップケー

キを撮影したら、その場でカップケーキを  
進呈」というキャンペーンを行うトラックの  
横にZapposがダンボール箱を置き、カッ  
プケーキをその箱に開けられた穴に入れたら、何か良いもの（時計やサングラス）を  
あげるといふ仕組み。この模様を映像にし  
て、SNSなどで流した。

「この映像は拡散されることを大前提に  
して作られています。ダンボールに人を入れた  
だけの仕組み。200万円しかかかっていま  
せん」。

### ●Always

女性生理用品の「Always」が2013年  
に仕掛けた「Like a girl」キャンペーン。「女  
の子のように走ってみて」「女の子のように  
ボールを投げて」と指示されて、「女の子」  
の仕草を揶揄したように表現した大人の女  
性、男性、少年の映像が流れる。次に実  
際の女の子たちに「女の子のように走って」  
と指示を出すと、彼女たちは思いっきり力  
強く走る様を見せる。

「この映像のメッセージは、言われてみればその通りというインサイトをついたアイデアで、「Like a girl」（女の子のように）はいい言葉として使われていないことに気付かされます。この映像には、女性用ブランドならではの強いメッセージが込められています。日本では女性のエンパワーメントが遅れていると個人的には感じています」。

### ●Country Time Lemonade

レモネード・ブランドCountry Timeの  
“Legal Aid” キャンペーン。子どもが道行  
く人に販売するレモネードスタンドを営業し  
てはいけないという様々な地域の法律や規  
制に対して「Country Time」が異議を唱  
える内容。

「同ブランドが子どもたちの代わりに罰金

を払ってあげますよ、というメッセージを発  
して、コンプライアンスが行き過ぎているん  
じゃないかと訴えます。実際にこのキャン  
ペーンで子どもが販売するレモネードスタン  
ドが合法になるように法律が変わった州も  
あります。素晴らしいと思います」。

### ●WFH

ハワイ観光局の“Work From Hawaii.  
Hawaii Tourism” キャンペーン。ニューヨ  
ーカーはワーカホリックでバケーションを取ら  
ない。しかし、バケーションではなくリモ  
ートで働ける環境のレジデンスをハワイ州内  
の6カ所に設けることで、「バケーションで  
はなくワーケーションにハワイに来ません  
か」というメッセージを伝える内容。

「ハワイと言えばバケーションというイ  
メージを逆手に取ったものです。実際に結  
果も伴った、成功したキャンペーンになりま  
した」。

### ●Sandy Hook Promise

学校のライブラリーの机に書かれた「退  
屈だ」といういたずら書きを見つけた高校  
生。彼がその悪戯書きに返事を書くと、さ  
らにその返事が書かれる。やりとりを重ね、  
2人はついに顔を合わせる。しかし、見つ  
め合う彼らの背後に銃を持った高校生が現  
れ、キャンパスは騒然とした雰囲気に包ま  
れる。

「学校で起きた銃乱射事件の発端に彼ら  
が気付くことができたのではないのか、と  
いうメッセージ。彼らが思いを募らせてい  
る間に、その背後で犯人の準備は着々と進ん  
でいたのだということを映像で示していま  
す。ラブストーリーかと思いきや、実際は  
銃乱射事件を未然に防ぐことを訴えるとい  
う落ちが絶妙。伝えたいメッセージを見事  
に伝えた成功事例です」。



映像紹介の後の鈴木さんの解説に耳を傾ける参加者たち。

他にもミシガン州の図書館閉館に抗  
議するキャンペーンや、人気eスポーツの  
「Fortnite」を利用したWendy'sのキャン  
ペーンといった映像が紹介された。

### 予算が限られているなら アイデアで勝負

次に、アメリカ以外の国で制作され、  
世界で評価されているプロジェクトの実際  
の映像などが上映された。

そして最後に、ブランデッド・エンター  
テイメントで成功するためのポイントにつ  
いて、次のように鈴木さんは次のように語  
った。「まず1点目は、観客ファーストでな  
ければならないということです。次に2点目  
は、大胆なアイデアかつインサイトフル、さ  
らに社会性のあるメッセージを込めること。  
そして3点目は、作品としての完成度、ク  
オリティーを追求するという事です。大胆  
なアイデアかつ楽しめる内容であれば、メ  
ディアも無料で取り上げてくれます。です  
から、予算が限られているのであれば、ア  
イデアで勝負すればいいのです。とはい  
え、中途半端なアイデアだと広がりませ  
ん。まずは常識を疑い、その先に共感を呼  
ぶようなプロジェクトを作ることが重要  
です。そうすることで、AIやロボットでは  
作れない、優れたキャンペーンを作ること  
ができるはずです」。

CCPAの対応はお済みですか？

2020年1月施行のCCPAでは機密情報を暗号化していれば  
万が一情報が漏洩しても民事訴訟は避けることができます。

あの軍事機関や中央銀行でも採用されている  
暗号化セキュリティで貴方の会社を民事訴訟・賠償から守る。  
新しい安心のセキュリティを貴方の会社にも。



Systema America Inc.  
<https://www.systema.us>  
Contact : [info@systema.us](mailto:info@systema.us)





「ネットワーク拡大を目的に参加しました」(Marubeni America Corporation の山崎さん)、「JBAの繁栄のために少しでもお役に立てればとイベントには積極的に顔を出しています」(KPMGの吉野さん)、「今回初参加です。初めての方々との出会いが楽しみです」(Jupiter Corporation U.S.A.の菱田さん)。



「ニューヨーク赴任からロサンゼルスに戻ってきたので、JBAのイベントは久しぶりの参加です」(Gulliver USA, Inc.の大塚さん)、「ミキサーのご案内をいただいたので気軽な気持ちで参加してみました」(Oriental Motor U.S.A. Corporationの藤田さん)。



「イベントへの参加は皆様との交流とJBAへの貢献が目的です」(DIGINEX, Inc.の山下さん)、「できるだけ多くの方との交流を楽しみたいと思います」(Syscom USA, Inc.の金子さん)。

## 企画マーケティング部会

### レドンドビーチの ヨットハーバーを望む レストランでミキサー開催!

去る10月24日、ヨットハーバーが窓外に望めるレストラン、「The Cheesecake Factory」のレドンドビーチ店で異業種交流会(ミキサー)を開催した。この日参加した約70名は、同店名物のチーズケーキのデザートに至るまでの料理に舌鼓を打ちながら、異業種間交流を楽しんだ。(お名前は左から)



「普段は子育てとの両立で夜は出かけられないのですが、今日は夫が子どもを見てくれているので参加できました。いろいろな方との出会いを楽しみたいと思います」(Quick USA, Inc.の中川さん)、「日系企業と交流する機会が普段はあまりないので、このような機会を有効に活用させていただきたいです」(Dentca, Inc.の前川さん)。



「JBAに加入したばかりの新会員です。今日はよろしく願います」(FPTの三浦さん)、「JBAのミキサーは人脈作りに役立っています」(Sanyo Denki America, Inc.の高木さん)、「毎回、新しい方との出会いを楽しみに参加しています」(Nippon Express USA, Inc.の村木さん)。



「このようなイベントは初めてです。素敵な会場ですね」(LPL Financialの世良さん)、「久しぶりの参加です」(LPL Financialの羽鳥さん)、「このような機会を通じて、人脈を広げたいと思って参りました」(H.I.S.の三上さん)。



「異業種の方とお目にかかるために来ましたが、昔の同僚とも再会できました」(ANAのロスさん)、「Kintoneの知名度を上げるために参りました」(Kintoneの新原さん)、「ロサンゼルスの日人社会の少しでも多くの方々とお知り合いになりたいです」(Kintoneの大橋さん)。

紙の文書をファイリングするのに \$20

間違ったファイルを探すのに \$120

再度、文書の承認を回すのに \$220

紙の文書、  
そろそろやめませんか。



kintone

<https://www.kintone.com/jp>



## 会場の様子



「初めての参加です。普段知り合えない方とお話できて人脈が広がりました」(SENKO (U.S.A),Inc.大沢さん)、「昨年のダウンタウンでの交流会がとて面白い経験だったので今回も申し込みました。自動車業界以外の方と知り合うチャンスがないので活用させていただいています」(Honda R & Dの盛山さん)、「交流会は2回目です。今日はよろしく願います」(Pacific Guardian Lifeの松本さん)、「とても素敵な会場で、雰囲気も最高です」(Kintetsu International Expressのサムさん)。



今回は円卓を囲んでの着席スタイル。各席で大いに会話の花が咲いた。



(前列)「前回参加した交流会が非常に良かったので今回も申し込みました」(NEUCOMの関口さん)、「いろいろなお仕事の方とお話できて楽しいです」(Stanley Electric Sales of America,Inc.の金子さん)。

(後列)「久しぶりの参加ですが、良い雰囲気ですね。楽しませてもらっています」(Takenaka Partnersの佐藤さん)、「意義のある素晴らしいイベントですね」(Sato Brothers International, Inc.の橋本さん)。



「久しぶりのミキサー参加なので、今日は多くの方との交流を楽しみにしています」(MITA EIKENの河井さん)、「初めての方とできるだけお知り合いになりたいです」(Seeknet USAの大塚さん)、「今日は初めて参加する2名の同僚を連れて来ました。彼らのネットワーク作りが目的です」(JNTOの阿相さん)。



「これまであまり日系社会と関係する機会がなかったのですが、これを機会に積極的に人脈を広げたいと思っています」(Pasona N A, Inc.の宮武さん)、「JBAのイベントには月1回は参加しています。これからもJBAを盛り上げていくために貢献したいです」(JBS USAの佐野さん)。



企画、運営に携わった企画マーケティング部会員。



## オフィスの移転・改装は「オフィス設計」

- 設計・レイアウトデザイン
- 各種内装工事
- オフィス家具
- 電話・LAN・セキュリティー
- 引越・移転作業
- プロジェクトマネジメント
- コストマネジメント



**Office Sekkei America, Inc.**

(310) 715-1001 ✉ la@officesekkei.com  
www.officesekkei.com/us

# 各部会からのお知らせ

## サウスベイ地域部会

### 「オクトーバーフェスト」に参加しての感想文

文：Pacific Guardian Life Insurance Company, Ltd.・山岸セラノ瑞穂さん

10月11日にサウスベイ地域部会主催の「オクトーバーフェスト」に参加しました。オクトーバーフェストという「大きな会場でドイツのビールを飲むお祭り」という認識しかありませんでした。しかし、本来は毎年9月下旬から10月上旬に開かれるドイツのバイエルン州都ミュンヘンのお祭りで、世界中から大勢の人が訪れる、世界でも最大級のお祭りです。

JBA会員用にはパティオに大きなテーブルがいくつか用意されていました。各テーブルにはこの時季にしか飲めないものを含む数種類のビール樽が置かれていて、自分の好きなビールを大きなジョッキに注いで飲めるようになっていました。普段家では日本のビールしか飲まない私が気に入ったビールは飲みやすいフルーツ系のもので、つついとお酒が進んでしまいました。料理は本格的ドイツ料理のレストランとあって数種類のソーセージ、プレッツェル、ロースト芽キャベツ、ジャガイモ料理など、どれもおいしいものばかりでした。特にソーセージはジュシーでホームメイドマスタードと相性がぴったりでした。ロースト芽キャベツはシンプルな味付けでしたが家庭で再現したいくらい大好きな味でした。またオクトーバーフェストラしくサーバーの人たちは民族衣装姿で、アコーディオンの生演奏もありました。レストランの外ではお客さん参加のスタインホールディン



ドイツ料理のレストランで楽しく交流。



最後に記念写真を撮影。

グ大会があり、どれだけ多くのジョッキを持つことができるかを競っていました。これらの演出がさらに場をにぎやかにし、まさしくビールを飲むお祭り「オクトーバーフェスト」という感じでした。おいしいビールと料理、楽しい音楽に会は盛り上がりませんが、会員同士ビールを飲み比べてみたり、感想を交換したりで大変に盛り上がりました。

JBAの会員の方々と交流できるこのような機会を年に数回、本来の仕事の合間に企画、運営されているJBA部会員の方に大変感謝しております。ありがとうございました。私自身、普段家族では来ない場所で新しいレストランを見つけることができるとてもうれしかったです。次は家族、友人同士で行ってみたいと思います。

## サウスベイ地域部会

### 「ハロウィンピクニック」に参加しての感想文

文：Diamond Generating Corporation・松井雄一郎さん

10月27日、妻と2人の息子と共にJBAサウスベイ地域部会主催の「ハロウイ

ンピクニック」へ参加させていただきました。パンプキンカービングや親子競技、仮装コンテストなど、プログラムが充実しており、時間があっという間に感じるほど楽しく、満喫させていただきました。運営の皆様のご準備、当日の盛り上げに感謝申し上げます。

朝9時過ぎ、会場となる公園へ到着すると、パンプキンカービングに黙々と取り組んでいる方々の姿が。受付を済ませた後、我が家もカービングを開始。何を隠そう、妻も私もパンプキンカービングは初めてであり、その場でYouTubeの動画を見ながらイロハを習得。一苦勞に思えたカボチャの中身のくり抜きは、思ったよりも簡単にできました。子どもが学校のイベントで使った（使い道のない…）大きなサングラスをここぞとばかりにカボチャへ装着し、無事完成。周りの皆様は電動ナイフを駆使したり、デザインシートをカボチャに貼って下絵を描いたり、十人十色のこだわり。単に顔を描くだけではなく、キャラクターや動物、文字メッセージなど、見ているだけでも楽しい気持ちになるものばかりでした。



参加者らが腕を振ったカービング。各賞も受賞されました。



参加者の中にはハロウィンの仮装姿の子どもたちも。

10時過ぎ、体力を持て余した子どもたちが公園でウロチョロし始めた絶妙のタイミングで、親子競技スタート。親子が離れて水風船でキャッチボールするものでした。2メートルくらいから始まり、徐々に距離を伸ばしていきました。親側には絶対に濡れたくないという緊張感が感じられました。我が家は早々にゲームオーバーを迎えましたが、特に野球経験のある子はキャッチがうまく、勝ち残った親子は5メートル以上離れてキャッチしていました。

11時からは仮装コンテストがスタート。我が家は子どもだけ参加。家族全員(ペット含む)でトータルコーディネートされているご一家、衣装を手作りされている方、審査員の方へかわいさ抜群のアピールをしているお子さんなど、どなたも華々しく、全身でハロウィンを楽しんでいる姿が印象的でした(私も一皮むけて、仮装してハロウィンを楽しめるようにならなくては)。

最後にパンプキンカービングの受賞作品を発表。サングラスが目立ったのか、我が家の作品(海賊風パンプキン)も受賞させていただきました。ありがとうございます。全員で壇上に上がり、賑やかな集合写真を1枚!

あらためまして、運営に携わられた皆様、

ありがとうございました。今後ともこのような家族で楽しめるイベントの企画をぜひ、お願い致します!

## オレンジカウンティ地域部会

### 「シャンパンランチクルーズ」に参加しての感想文

文: Takenaka Partners LLC・網本敏明さん

11月3日(日)にJBAオレンジカウンティ地域部会主催の「ニューポートビーチ・シャンパンランチクルーズ」に参加してきました。こちらに長く住んでおりますが、これまでなかなか参加の機会がありませんでしたが、このクルーズにやっと夫婦で参加することができました。当日は絶好の晴天でJBA会員約25名が集まりました。まず乗船の前に観光船をバックにしてJBAのご担当の方の音頭で集合写真を撮り、乗船しました。

観光船はゆっくりと停泊場所を離れると、航路がニューポートビーチ湾内ということもあり波一つない海面を滑るように走り始め、約2時間のクルーズがスタートしました。船は意外と大きなサイズで揺れも全く感じません。あらかじめ指定されている7~8名のテーブルに別れて座り、ま



船内で食事を楽しみながらの交流の様子。

ず全員がシャンパンで乾杯した後、各自がそれぞれバフェの食事を取りに行きます。料理もボリュームたっぷり、味もなかなかおいしく各テーブルは楽しそうな会話で盛り上がっていました。ライブとステレオから聞こえてくる音楽も耳に心地よく時間が過ぎていきます。もちろんシャンパンもバフェもおかわりできます。

甘党の方にはケーキなどのデザートもありますし、ソフトドリンクとコーヒーも付いてこのお値段(55ドル/人)は、かなりお得感があります。食事が終わった後半の1時間は、各自が観光船の2階と3階のデッキに移動して湾内の両岸に建つ高級住宅(各家の前にはヨットを停める小さな乗り場)の景色を眺めたり、写真を撮ったり、会話を楽しんだりしていました。私もちょっとほろ酔い気分、お腹はいっぱい、心地よい潮風にあたり、ジャズ風の音楽も気分を盛り上げてくれ、普段の忙しさを忘れて幸せな気分になりました。

JBAグループ以外にも親子3代でおじいさんの誕生日をお祝いする家族、結婚式のすぐ後に乗船したと思われるカップルなど、それぞれが楽しい時間を満喫されていました。幹事の皆様、楽しい日曜日をありがとうございました。



船上でのお楽しみの最後に集合写真を撮影。

スタート・パシフィック



## 海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。



### 日系不動産仲介企業のリーディングカンパニー

スタートは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオールド・トランスにございます。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております!

### 海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。

### もちろん、個人の住宅もサポート

ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国時の日本での住まい探しもご相談下さい。

#### ●ロサンゼルス店:

TEL (310)782-7877  
1219 El Prado Ave., Torrance, CA 90501  
info@startsla.com  
www.starts.co.jp/la

#### ●ニューヨーク店:

TEL(212)599-7697  
www.startsnewyork.com

#### ●サンノゼ店:

TEL(408)380-2499  
www.starts.co.jp/sanjose

#### ●スタートコーポレーション株式会社:

TEL (03)6202-0111(代表)  
〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10  
スターツ八重洲中央ビル  
www.starts.co.jp

#### ●ハワイ店:

TEL(808)947-2280  
www.startshawaii.com

#### ●ダラス店:

TEL(646)708-6194  
www.kaigai.starts.co.jp/dallas

## 12月のJBAイベントカレンダー

**12/7** (土)

パネルディスカッション:  
帰国子女の体験談と  
心理カウンセラーによる心のケア

教育文化部会

**12/8** (日)

ハイキング・ゴミ拾い  
ボランティア2019年度・第2回

ダウンタウン地域部会

**12/14** (土)

アメリカン・バレエ・シアター  
The Nutcracker鑑賞

オレンジカウンティ地域部会

**1/18** (土)

スーパークロス観戦

オレンジカウンティ地域部会

**1/22** (水)

賀詞交歓会

企画マーケティング部会

※各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご覧ください。

### 新入会員

Meldia Investment Realty of America, Inc.	18529 S. Western Ave., Gardena, CA 90248	☎ 424-340-2379
SBC IRVINE LLC	22 Odyssey, Irvine, CA 92618	☎ 949-333-2929
TOKYU HOTELS CO., LTD.	26 Corporate Plaza, Suite 150, Newport Beach, CA 92660	☎ 949-719-3327
Keiei Senryaku Corporation	21221 S. Western Ave., Suite 215, Torrance, CA 90501	☎ 310-701-1633
Bond Consultants Group	2054 N. California Ave., Chicago, IL 60647	☎ 773-672-8950
Activ8 West-Los Angeles	1800 Vine St., 3rd Fl., Hollywood, CA 90028	☎ 213-787-3348
FPT USA Corp.	801 Parkview Dr. N., Suite 100, El Segundo, CA 90245	☎ 214-253-2662

「パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム」は  
米国駐在員の皆さまのニーズにお応えします。

- ・渡米前に日本から米国の口座を開設し生活費を送金しておきたい
- ・米国赴任中も銀行口座について日本語でやりとりしたい
- ・米国到着後、すぐにカードで現金を引き出したい
- ・日本帰国後も米国の口座を利用し、日本から口座を解約したい

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669**  
(フリーダイヤル・日本時間にも対応)までお問い合わせください。



A member of MUFG, a global financial group